

林間を利用したわさび栽培の普及について

1 はじめに

林間を利用したわさび栽培は水わさび栽培と異なり、高額な初期投資が無いことや、豊富な森林資源を活用して栽培が可能などから、新たな生産者の参入が期待できる品目です。

そこで、遠野市、普及センター及び当センターが連携して、今年度から、高収益が期待できる林間わさび栽培の普及拡大に向けた取組を始めました。

2 25年度の取組

普及拡大に当たって、先ず必要となるのが生産者の掘起しと栽培適地の確保です。そこで、当センターでは、市と連携して、本年9月、宮古市川井地区の「わさび団地」において、林間わさび栽培に興味を示していた附馬牛町小出集落の方々を対象に先進地研修を行いました。

この研修に参加した皆さんからは「是非取組んでみたい」と前向きなお話をいただき、今年度は最終的に5戸の生産者を確保することができました。



市と県による振興策の検討会

一方、今年度分の植付地については、その適地判定を普及センターの協力をいただいて行い、10月末に、植付けを無事完了しました。今年は、モデル事例づくりとして取組んだもので、作付面積は12aと少ないですが、これを足がかりに、普及を図っていきたいと考えています。

3 販売先の確保

生産振興には、販売先の確保が必要となりますが、近隣の加工業者が生産物を受け入れる意向を示しており、安心して生産できる環境が整っています。

4 今後の取組

今後、市では、林間わさびの産地化を目指し、作付面積を拡大することとしており、当センターとしても、市及び普及センターと連携して更なる生産者の掘起しや生産者への栽培技術指導などに積極的に取組んでいきたいと考えています。



附馬牛町小出集落の皆さんによるわさび苗植栽